

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

企画総務

スポーツ及び文化に係る事務の管理及び執行に関する条例

委員 スポーツ、文化施設、社会教育施設を市長部局に移さなければならぬ理由は何か。

担当者 教育委員会と密接な連携を取りながら中期経営計画を着実に効率的、効果的に推進するためには、市長部

局に置いたほうがよいとの判断で、文化、スポーツについては市長部局へ移していきたい。

町田市組織条例等の一部改正

委員 市長の行政経営改革が中期経営計画になったが、この組織改正の目的もそうなのか。

担当者 今回の中期経営計画には、重点施策プランがあり、四つの基本理念が掲げられている。これらの実現に向けて、行政経営改革指針を

持ち、効率的、効果的に業務を行う体制を構築する必要がある。今回の組織改正に至りました。

委員 経済観光部をつくることよって、これから観光を深めていくのか、それとも

新たに興していくのか

担当者 中心市街地の活性化を初め、北部丘陵の部分も含めて、経済という意味合いと観光という意味合いを強く出していきたい。その先々として、観光協会的な部分も市としてつくっていくかなければならないということも含め、考えていきたい。

委員 都市づくり部とは、職員が積極的にその地域に入って都市づくりのコーディネートも含め、取りまとめていくような姿勢が変わっていくのか。

担当者 都市づくり部は、地域に積極的に出ていき、市民の中に入っていき、とにかく人と接していくことが大事であるということ、その思いを都市づくり部という名称に込めたものです。

文教生活

町田市立図書館小学校新築工事請負契約など

委員 二〇〇九年に開校できなかつた場合の弊害、状況はどうか。工期が二〇〇九年三月一八日だが、四月の開校に間に合うのか。

担当者 開校については、入学式の関係もあるので、四月七日までには準備が整うように、鋭意作業について進め

ていきたい。四月に開校できなければ何か都合があるのかということですが、保護者からは一日も早く新しい学校をつくって、忠生第一小学校の状況を改善してほしいという意見をいただいています。そういうことで我々の方も努力をしてきたということですが、

町田市国民健康保険出産資金貸付基金条例の一部改正

委員 母子健康手帳を渡すときに、貸し付けの制度周知はしているのか。積極的に行ってほしいがどうか。

担当者 配布の際には、周知をするようにお願いしているが、特に冊子等は渡していません。今後、そのような方向で実施したいと考えています。

中学校給食調理等事業

委員 最終的に二〇校に対して、給食を供給する業者は何社になるのか。

担当者 複数化する理由は、一社であると事故が起きた際の対応など、さまざま懸念が想定されるので、安定供給ということを念頭に置いて複数社としていきたいということが一つあります。そういう意味では、現段階では二社ということを考えていますが、三社にするか四社にするかは、また将来の課題としてあるだろうと思っています。

保健福祉

委員 今回の組織改正に伴い、庁内ではどの程度議論がなされたのか。

担当者 部長以上、管理職以上で議論を行っています。各部の管理主幹、総務担当課長に、今回の考え方を説明し、組織の中でも十分職制を通して考えを述べてもらいました。これ以外にも、行政管理課でヒアリングを行いました。

自立支援給付費

委員 小規模授産という形でやってきた作業所が、新体系に移行したときに運営が大変になるという心配を聞いたがどうか。

担当者 いわゆる単価の違いであり、就労継続をしていく支援をするB型施設の単価が一番低く設定され、例えば授産施設がB型に移行した場合、そこが一番厳しいのかなと理解、認識しています。

委員 今年度一年間として見た場合に、例えば応益負担として全体でどれだけ負担増になったのか。

担当者 全体の金額で、例えば居宅系、ホームヘルプとかグループホーム、短期入所それから通所されている方について対象者は一カ月一、一

二五名、二七年度の年間ペースを推計すると、自己負担として約八、四〇〇万円の方試算となり、さらに入所の方を含めると、トータルで約一億一、〇〇〇万円を算出しています。

町田市学童保育クラブの指定管理者の指定について

委員 今回、再指定をするに当たって踏んだ手続は。

担当者 指定管理者の制度の運用の基本方針に従っており、手続としては、経年の実績を評価した上で執行できる能力があると認められた者という形になっていて、子ども生活部契約事務適正化委員会において、継続にふさわしいかどうか、まず審査し、その後団体から新たな年度

に向かつての事業計画等の書類をいただき、その内容について提案聴取をして審査をし、決定しています。

委員 この指定管理者が三年前に競争原理が働いて指定を受けた団体であるのか。

担当者 五つの学童保育クラブについて、すべて公募で行っています。

委員 複数で競争が行われたものと理解してよいのか。

担当者 公募した結果、応募があったものが一団体のみでした。

委員 できれば三年前に競争が働いていない団体については、新たに公募をかけ、本来どこかで競争というものを挟むことが必要だと思いがかがか。

都市環境

委員 当初中学校給食をスタートする段階で、業者を複数にしていくという方針で臨んできたのか。

担当者 当初から複数社ということとは念頭にありましたが、昨年度複数社化をしようというところで検討を始めていたが、事務的に間に合わなかつたため、ここで改めて行っていくということですが。

町田市文化交流センター条例

委員 市民交流の場、文化活動の場の提供と設置目的が書いてあるが、何か施策を想定しているか。

担当者 中心市街地の活性化だとか、産業の振興等も含め、施策として考えています。現在、商工会議所が行っている産業祭といったものも、こちらを会場にしながら規模もしくは内容を充実させていくとか、産業や雇用、労働に関係する催し物、研修等を直接市が行わないにしても誘導していきたいと考えています。

町田市清掃事業場条例の一部改正

委員 廃止後の土地の利用

については、どのような形になっているのか。

担当者 廃止後については、清掃事業部の行政財産から離れますが、北部丘陵の区域と隣接しているため、北部丘陵整備の一環として利用ができないかということで調整をしていきたいと思っています。

東京都水道事業の事務の受託の廃止及び町田市公共下水道使用料徴収事務の委託について

委員 平成二四年には、すべて市の職員がいなくなってしまうと受けとめたが、今行われている日常業務がどうなっていくのか。また、大震災など、非常の場合にはどうなっていくのか。

担当者 基本的には、非常時のこともそのまま引き継いでいけるような体制をつくっています。具体的には、漏水事故等、工事の関係も、町田市の行っていた状態がスムーズにいくように、五年間の計画等をつくりながら引き継いでいきたいと思っています。

委員 職員について、現在の体制から事務の受託が廃止されるまで、人件費等は東京都の方でかなり見ていると思われるが、職員が今後どのような扱いになるのか。

担当者 職員は、現在六五名、来年度四八名と、段階的に減員の予定です。人件費はすべて東京都で見ているので、その範囲でやっています。退職不補充で、減員、移行計画に沿った人員配置をしています。水道の方で残るものは、一般会計に戻す計画で進めています。